

コース名	東京テックイノベーションプログラム	コマ数	3	時間数	4.5
科目名	東京テック特別演習 2	教員名	牧野千里		
概要	<p>実在のものづくり企業 2 社(ベンチャーキャピタル会社社長、地域スタートアップ支援プラットフォーム設立者、会社役員等)の実践的な経営実態の講義を受けるとともに、保有技術の見学を行う(1,2 コマ目:日程は別途公開)。 履修生は、上記 2 社の社内外状況を、主に SWOT 分析、クロス SWOT 分析で整理し(他の分析法を追加しても良い)、独自の経営方針を提案、プレゼンテーションを行う(3 コマ目)。 以上より、事業のマネジメントに関する知見を集積、演習により体得する。</p>				
目的・狙い	<ul style="list-style-type: none"> <li>・複数の実践的な経営実態をもとに、議論を繰り返すことを通じて、基礎的な起業力・経営力を修得する。</li> <li>・受講者自身が自ら考えて回答を導き出すことにより、受講者自身が主体的に考え学ぶ力を修得する。</li> </ul>				
履修条件 (履修数の 上限、要求 する前提知 識等)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本科目ではものづくり企業の社内外分析を、主に SWOT 分析、クロス SWOT 分析にて行う(他の分析法を追加しても良い)。分析法については講義前までにあらかじめ各自学修、あるいは講師に質問すること。不明点がある場合は、講義前までに講師に質問すること。</li> <li>・PC を用いた資料作成、プレゼンテーション、Web 会議を行えること(講義開始前までに各自準備すること)。</li> <li>・講義に関する連絡は LMS(manaba)を通じて行えること。</li> <li>・現地見学においては、出席できることが望ましい。出席ができない場合は、見学時のビデオを視聴、あるいは資料を参照し、課題レポートを提出することとする。</li> </ul>				
到達目標	上位到達目標				
	・上記分析結果をもとに、独自の経営方針を提案、プレゼンテーションできる。				
	最低到達目標				
	・実在のものづくり企業 2 社のビジネス環境、ステークホルダー、ポジショニング、ビジネスモデル、戦略、組織構造、オペレーション、ビジネスの制約や課題などを理解し、SWOT 分析、クロス SWOT 分析等でまとめることができる。				
授業実施形態 (単一または複数から構成される)	形態	○	留意点		
	対面型	○	<p>現地見学は対面を原則とする(1,2 コマ目)。ただし出席が困難な場合は、オンデマンド動画視聴、配布資料を参照して自修し、プレゼンテーション資料を作成、後日(3 コマ目)発表する。 現地見学(1,2 コマ目)が困難な場合は、オンデマンド動画視聴、配布資料を参照して自修し、プレゼンテーション資料を作成する。</p>		
	ハイフレックス型(オンタイム)	○	3 コマ目の発表のみハイフレックスとする。		
	ハイフレックス型(録画併用)				
	録画視聴型				
授業外学習	<ul style="list-style-type: none"> <li>・興味を持った項目についてはインターネットや書籍などで自主的に学修を進めていく。</li> <li>・分析法については、講義前までにあらかじめ各自学修、講師に質問すること。</li> </ul>				
授業の進め方(グループワーク方式など、進め方の特徴)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実在のものづくり企業 2 社(ベンチャーキャピタル会社社長、地域スタートアップ支援プラットフォーム設立者、ものづくり会社役員等)の実践的な経営実態の講義を受けるとともに、保有技術の見学を行う(1,2 コマ目)。</li> <li>・履修生は、上記 2 社の社内外状況を主に SWOT 分析、クロス SWOT 分析等で整理し、独自の経営方針を提案、プレゼンテーションを行う(3 コマ目)。</li> </ul>				

	回数	内容	授業実施形態 [対]、[ハ(オ)]、[ハ(録)]、[録]
授業の計画	第1回	ものづくり企業実地見学。 出席が困難な場合は、企業配布資料、見学時の録画ファイル視聴により自修する。	対
	第2回	ものづくり企業実地見学。 出席が困難な場合は、企業配布資料、見学時の録画ファイル視聴により自修する。	対
	第3回	レポート課題をプレゼンテーションする。	対、ハ(オ)
成績評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>・プレゼンテーション資料の提出、プレゼンテーションの結果をもとに、到達目標と照らしあわせ、合否判定を行う。</li> <li>・プレゼンテーション資料が提出されない場合は、本科目の評価は行われず、自動的に不合格となる。</li> </ul>		
教科書・教材	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教科書は特に指定しない。</li> <li>・配布資料がある場合は講師より提供する。</li> </ul>		
参考図書	<ul style="list-style-type: none"> <li>・必要に応じて提示する。</li> </ul>		